

地域、家庭、学校 みんなで子どもたちの成長を支える

朝8時20分、若葉小学校の放送室から各教室へ届けられる紙芝居の読み聞かせ。子どもたちは教室で熱心に聞き入っています（写真左。紙芝居を読み上げるのは、地域の人たち（写真下）。

とで考えられた取り組みです。

今回は、学校と地域の人たちが力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」について紹介します。

問 生涯学習課 ☎24・7974 FAX 23・9190



「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会」を設置した学校のことであり、法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律）に基づいた制度です。市のコミュニティ・スクールは、現在、若葉小学校・稲枝西小学校・城北小学校・西中学校の4校です。

各校の学校運営協議会では、「どのような子どもを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを地域と学校が共有し、互いをパートナーとして、子どもたちの学びを充実させる話し合いをしています。

ここでの話し合いを基に、**地域学校協働活動**として、登下校の見守りや校内の環境整備、部活動、学習の支援（地域未来塾など）、さまざまな取り組みが行われています。

このように「コミュニティ・スクール」では、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

子どもたちの活動を充実させるために

「コミュニティ・スクールの取り組みを紹介

顔の見える関係を

城北小学校 校長 矢田 充宏さん

城北小学校では、「地域とともにある学校づくり」を指して、今年度から学校運営協議会を設置しました。

6月下旬に開催した第1回学校運営協議会では、①学校教育目標と学校運営方針 ②学校の教育活動 ③城北小学校の良さや課題などについて、委員である保護者や地域の皆さんと話し合いました（写真①）。

これまでと同様に、地域や家庭の皆さんと、顔の見える関係を大切に、今後は、それぞれの立場で、子どもたちのためにできることは何かを考え、地域・家庭・学校が一体となって子どもたちの成長を支えていきます。

豊かな心の育成

稲枝西小学校 校長 藤井 純子さん

稲枝西小学校では、毎年、児童会のフラワー委員会が全校児童にメイン花壇のデザインを募集し、選ばれたデザインに合わせて苗を植えています。

今年も6年生児童が、地域の皆さんとマリーゴールドやサルビア、メランポジウム、アゲラタムなどの花の色を生かして苗の植え付けを行いました（写真②）。

種まき、苗植えなどの花の世話を通して「がんばる心」「優しい心」「豊かな心」の育成を、学校と地域がともに目指しています。

生徒の笑顔が嬉しい

西中学校運営協議会 会長 本田 充さん

西中学校は、毎週水曜日に約2時間、地域の人など10人程度の協力を得て、地域未来塾を開催しています（写真③）。希望する生徒約30人は、学習する教科を自らが決めて取り組みます。私たちは、生徒の学習を支援したり、時には一緒に考えたりします。問題が解けた時の生徒の笑顔が、この上ない喜びになります。



▲本田さんは、城北小学校と西中学校の学校運営協議会の会長を務める。



①第1回学校運営協議会（城北小学校）



②地域の人と「花づくり」（稲枝西小学校）



③地域の人と勉強（西中学校）

勉強が楽しい



僕は、一人で勉強するのが苦手なので、地域未来塾に入りました。地域未来塾では、先生方が優しく丁寧に教えてくださいました。今まで勉強することが苦手でしたが、地域未来塾に入ってから勉強が楽しいと思えるようになりました。

式部 丈亮さん（西中学校3年生）